

発行所株式会社空調タイムズ社
本社 (〒105-0013)
東京都港区浜松町1-23-2
(山下ビル)
電話代表番号 東京3433局6501
FAX: 東京 3433-6505
関西支社 (〒530-0015)
大阪市北区中崎西1-4-22 (梅田東ビル)
電話代表番号 大阪6312局6061
URL <https://ac-times.com>

安価に配管更生

少ない費用で機能の維持・改善めざす 建物オーナーからの関心度が急上昇中

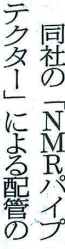
日本システム企画の
NMRパイプテクター

安価で確実な配水管更生技術として日本システム企画(社長=熊野活行氏、本社・東京都渋谷区)が同社オリジナルの赤錆防止装置「NMRパイプテクター」による配管の赤錆防止・更生技術への集客型事業所オーナーからの関心度が急上昇中だ。新型コロナウイルス感染症禍中で収益性が低下し回復時期も見通せない一方、鋼管高騰等で劣化配管の交換も容易に行えない現状にあって、最小限の出費で重要設備である水配管の機能保全が出来る点に支持が集まる。以前から導入が進み集合住宅、病院、宿泊施設だけでなく、最近では介護施設や百貨店、大型スーパーマーケット(SM)店からも引合い数・受注数が増勢。また病院分野では、群馬で昨秋発生した院内空調用配管の劣化に伴う防錆剤入り冷温水の上水への混入を原因とする複数乳児のメトヘモグロビン血症発症事象を重く見た病院関係者が本技術に一段と注目するという現象も起きている。

本技術に病院関係者が一段と注目

赤錆防止・更生事業は、2020年度は、未知のウイルスへの警戒感から対面頻度抑制が広がり、生案機会が減ったほか、生活様式の急速な変容で従来型設備投資の妥当性を測りかねる顧客が増えた。いま、営業は非常に

ていることが要因。感染拡大の度に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されるなか、病院や宿泊施設は利用者が低水準で推移しており、設備の機能維持に費やせる余力は少ない。以前から導入が多かった病院、ホテル等のほか、最近では介護施設、百貨店、大型SM店等でも引合い、受注が急増している。



熊野 活行社長

「NMRパイプテクター」による配管の測りかねる顧客が増えた。いま、営業は非常に

は経年劣化するが、配管



熊野社長によると22年度の導入数は21年度比約1.4倍に達する見込み。『NMRパイプテクター』による配管の赤錆防止・更生は集合住宅の給水管更生の印象が強いが、空調・冷熱分野でも冷温水や冷却水の配管更生で数多く活躍している。先述の通り鋼管価格は現在急騰しており、熱源機器や補器類のメーカーは機器更新が配管経年劣化問題で足踏みとなる場面も出てきた。感染禍長期化による国際的サプライチェーン隘路化や、露の鳥侵攻に絡み、鋼材価格が騰勢を強める可能性もある。機器メーカーにとっても本技術との組合せ改修提案の意義は高いと考えられる。

「NMRパイプテクター」の1場面 [左下のQRコードからアクセス可能]